

平成26年度事業報告

1 概要

まちを創る主人公・主体者は、われら高齢者です。

シルバー人材センターの会員になって「生きがい」と「社会的存在」を示し、一人ひとりの夕映えの輝きと証をつくりませんかと「働く喜び」「学ぶ喜び」「奉仕の喜び」の三つの理念を掲げて活動しました。

さらに、4つの活動方針と5つの活動項目を掲げ、当センターが関係自治体と連携し、地域と密着した事業を実施してまいりました。

また、一般家庭や企業等に対し、就業のニーズの把握調査や発注依頼を行った就業開拓推進事業、チラシや看板の作成、広報誌に掲載等をしながら入会促進を行った会員拡大推進事業、作業場のパトロールや就業内容の検討、安全に対する意識付けや確認を行った安全・適正推進事業など、機能強化推進事業を取り組みました。

事業実績

		男性	女性	全体
平成27年 3月31日現在	会員数	112人	39人	151人
	平均年齢	73.2歳	72.5歳	72.9歳

発注者	受注件数	就業延人員	受注金額
公共事業	9	577	3,956,120
民間事業	609	7,198	43,154,194
合計	618	7,775	47,110,314

2 事業の内容

4つの活動方針

- ①会員の加入と就業機会の拡大
- ②農協との連携
- ③安全就業の推進
- ④事業の普及啓発の推進

5つの活動報告

①安全教育の実施

当センターは、会員の事故を未然に防止するため、班ごとにセンターに集合し、ラジオ体操に続き、今日の作業内容、作業に関連する安全注意事項を局長又は班長が毎日実施ししています。

また、町内の病院の協力により年4回の「健康教室」を実施しました。

②シルバーライフスクールの充実

社会の動きに主体的に対処するため、常に学習し、社会参加をしなければなりません、そのためにシルバーライフスクールを充実させ、生涯学習の場と機会の拠点に位置付け、学習の取り組みと、町内行事や地域環境美化活動など積極的に参加してきました。

③花でまちを創る

「ふるさとは在るのではなく、みんなで汗を流して創るものです」そんな心意気をもって、花いっぱい運動を展開しています。

(イ) バイパスコスモスロード ～今やまちのシンボルロード～

今年で18年目を向えた国道272号線バイパス植樹帯3キロにわたってのコスモスロードづくりを実施しました、この活動が高く評価され、北海道開発局長より道路功労者の表彰をいただいております。

(ロ) コスモスの里づくり

中標津空港前に広さ約7000平方にコスモスの里を創る事業に理事、事務局員、会員たち当シルバー全員が参加しました。

(ハ) 花のじゅうたんプロジェクト

北海道の事業である「花のじゅうたんプロジェクト」事業(中標津空港からバイパスにつながる沿道の景観創り)にシルバーの会員が参加し、道路管理者と花の苗3,000株を植樹帯に植え込み、行政と住民の共同取り組みとして新聞に大きく取り上げられました。

(ニ) 町並みを花で飾る

シルバーの会員により役場前をはじめ町道(5路線)をマリーゴールドの花でいっぱいにし町民サービスと町のイメージアップに努めました。

④ボランティア活動

ボランティア活動は、地域社会にシルバー事業の普及啓発を図ると共に地域貢献によって社会とのつながりを深め、相互理解・協力関係を築いていくことができました。

活動としては、森の家の障がい者や独居老人宅に餅をくばる「福祉もちつきの集い」、除雪とあわせた宅配おしゃべりの「愛のネットワーク」、小学生を中心とした親子連れが約300名が参加した「河童まつり」などを実施しました。

⑤子ども&高齢者交流館

シルバー人材センター事務所2階を子供&高齢者交流館として活用しています。

小林竹春「からくりおもちゃ館ラビットRabbits」「野鳥コーナー、万華鏡コーナー」などに活用されています。